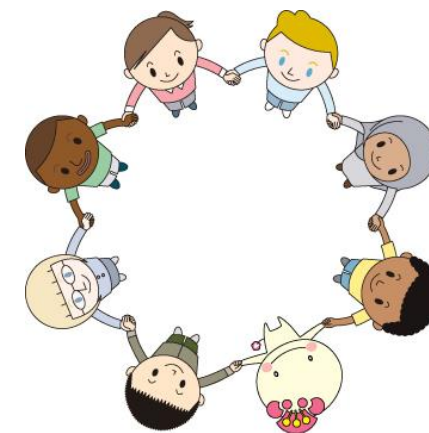


令和4年度

第1回 まちづくり部会

令和4年8月25日（開催）





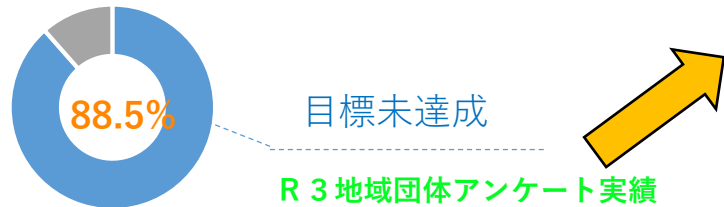
戦略 4 - 1

地域の自主的なまちづくりの活動支援・促進
(令和6年度までに)

防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組み及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組みが自律的に進められている状態

目標

地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組みが自律的に進められている状態にあると思う割合：6年度までに90%以上



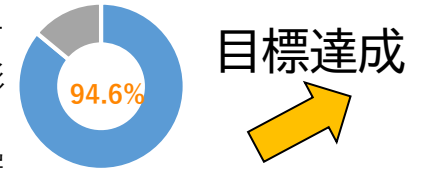
R 3 地域団体アンケート実績

目標は未達成であるが、令和6年度に向け順調に推移しており、引き続き取り組む

具体的取組 4 - 1 - 1

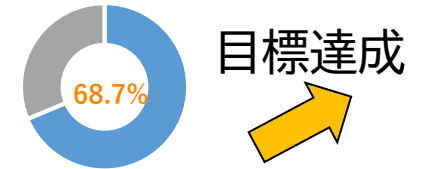
人と人のつながりづくりの推進
目標

①コミュニティ育成事業参加者へのアンケート調査は新型コロナウイルス感染症の影響で現地開催中止により実施できませんでしたが、代替事業であるオンライン開催の視聴者への調査では、活動内容に理解や親しみが深まった区民の割合 目標が80%以上



R 3 年度事業参加者アンケート実績

②自治会・町内会などの地域団体の活動により、身近な地域でのつながりを実感している区民の割合 目標が50%以上



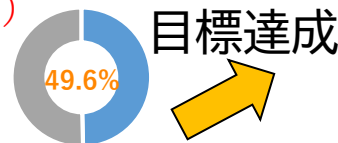
R 3 年度区民モニターアンケート実績

具体的取組 4 - 1 - 2

地域活動協議会活動支援事業

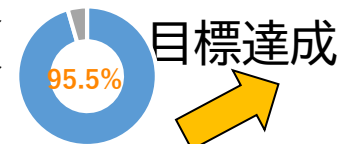
目標

全ての地域活動協議会が補助金を活用し事業実施
目標が全10地域 (R3実績 全10地域158事業実施)



地域活動協議会を知っている区民の割合
目標が40%以上 R 3 年度区民モニターアンケート実績

地域のイベント参加者のうち地域活動協議会補助金が地域の実情に即して活用できていると感じる割合



目標が80%以上 R 3 年度事業参加者アンケート実績

具体的取組 4 - 1 - 3

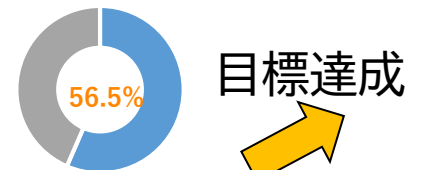
新たな地域コミュニティ支援事業

目標

①まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合
目標が80%以上 R 3 年度事業参加者アンケート実績



②地域活動協議会において、地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる割合
目標が55%以上



R 3 年度地域活動協議会へのアンケート実績

課題等

- ・ 地域活動を行うにあたって必要な人材（新たな担い手）が十分ではない。
- ・ 地域コミュニティを取り巻く社会環境の変化等に伴い、人と人とのつながりが希薄になっている。
- ・ 地域活動協議会が形成され数年が経過し、地域による自律の進捗状況等の差異が大きくなっていることから、地域によっては最適な支援が行われていないことが考えられる。
- ・ コミュニティ育成事業（あべのカーニバル等）の開催内容について検討の必要がある。



令和5年度に向けていただきたい意見

- ・ 地域コミュニティづくり等、地域特性に即した地域課題の解決に向け、若い世代（大学生等）の参画を含めた人材育成等の支援について
- ・ 自治会、町内会の加入促進について
- ・ 地域活動協議会への支援の効果検証に基づき、全地域一律でなく、地域の実情に即した最適な支援を実施することについて
- ・ 世代関係なく、すべての方が楽しむことができるコミュニティ育成事業（あべのカーニバル等）の開催方法について

経営課題 4 魅力と活力にあふれるまち



戦略 4 - 2

誰もが自慢したくなる魅力あるまちづくり (令和6年度までに)

地域住民・企業等と協働することで、人が集い、にぎわいが創出され、魅力あるまちとなっていると感じられる状態

目標

魅力情報の発信や地域住民・企業等との協働によるにぎわいづくりの取組みにより「魅力あるまちとなっている」と感じる区民の割合：**6年度までに70%以上**

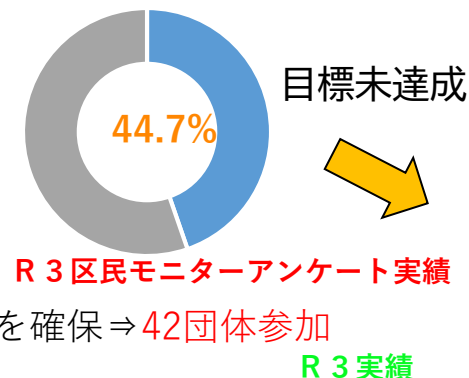


目標は未達成であるが、令和6年度に向け順調に推移しており、引き続き取り組む

具体的取組 4 - 2 - 1

あべのブランド・魅力向上への取組み 目標

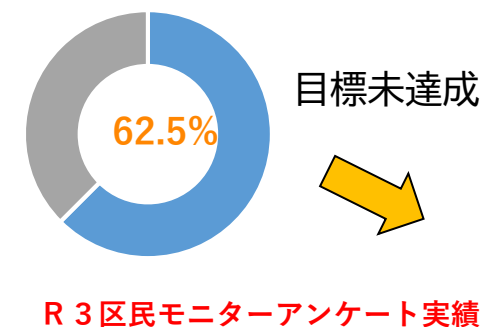
「路面電車の走るあべの筋」などの都市景観資源の活用や、地域団体・企業等によるイベント等の魅力発信の取組みにより「あべのの魅力が十分発信できている」と思う区民の割合 **目標が60%以上**



具体的取組 4 - 2 - 2

あべの筋の魅力ある街づくり 目標

あべの筋の阪堺軌道敷の芝生化や周辺地域の路上喫煙禁止地区指定などによりまちが魅力的になっていると感じている区民の割合 **目標が80%以上**



課題等

- ・魅力情報の発信や地域住民・企業等との協働によるにぎわいづくりに取り組んでいるが、「魅力あるまち」と感じる区民の割合が47.4%であり、目標達成には至っていない。
- ・「あべのdakara（だから）」の発信をはじめ、地域住民・企業等との協働など魅力的なまちづくりを進める取り組みが必要である。

※阿倍野区の景観資源や商店街などの魅力資源をあべののお宝という意味を込めた「あべのdakara（だから）」と命名



令和5年度に向けていただきたい意見

- ・「あべのdakara（だから）」の効果的な発信など、魅力と活力にあふれるまちづくりを実現するための取り組みについて
- ・大阪・関西万博に向けて、地域住民や企業等との協働を含め、にぎわいをもたらす取り組みについて

経営課題4		指標	4年度目標	3年度実績	2年度実績	区民モニターアンケート	参加者等に対するアンケート
めざす成果及び戦略4-1		地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組みが自律的に進められている状態にあると思う割合	90%	-	-		地活協構成団体
	具体的取組4-1-1	①コミュニティ育成事業参加者へアンケート調査を行い、他の参加者や団体と交流できたと感じた割合	80%	未	未		参加者
		②自治会・町内会などの地域団体の活動により、身近な地域でのつながりに関して、肯定的に感じている区民の割合	50%	68.7%	72.9%	○	
	具体的取組4-1-2	・全ての地域活動協議会（10地域）が補助金を活用し事業実施	10地域	10地域	10地域		地活協
		・地域活動協議会を知っている区民の割合	50%	49.6%	48.6%	市民局	
		・地域のイベント参加者のうち地域活動協議会補助金が地域の実情に即して活用できていると感じる割合	80%	95.5%	90.4%		参加者
	具体的取組4-1-3	①まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合	80%	96.0%	89.5%		支援を受けた団体
		②地域活動協議会において、地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる割合	55%	56.5%	55.0%		地活協
めざす成果及び戦略4-2		魅力情報の発信や地域住民・企業等との協働によるにぎわいづくりの取組みにより「魅力あるまちとなっている」と感じる区民の割合	70%	-	-	○	
	具体的取組4-2-1	「路面電車の走るあべの筋」などの都市景観資源の活用や、地域団体・企業等によるイベント等の魅力発信の取組みにより「あべのの魅力が十分発信できている」と思う区民の割合	60%	44.7%	-	○	
		参加団体数38団体（現参加団体の90%）を確保	38団体	42団体	42団体		
	具体的取組4-2-2	あべの筋の阪堺軌道敷の芝生化や周辺地域の路上喫煙禁止地区指定などによりまちが魅力的になっていると感じている区民の割合	80%	62.5%	74.2%	○	

指標の測定方法について

戦略と取組ごとに指標を設定し、その達成に向けて取組を進めています。取組が順調に推移しているかなど、区民モニターアンケートやイベント・相談事業等に参加した方へのアンケート結果などを基に評価し、将来ビジョン・運営方針の進捗管理を行っています。

(注) 区民モニターアンケート

区の事業や取組みについて広く意見等をいただくことで区民ニーズを把握し、今後の阿倍野区政に反映し、活用することを目的としています。

調査対象：阿倍野区内に在住の18歳以上の方で、住民基本台帳から無作為に抽出した方（2,000名×2回）

調査方法：調査票の送付による配布と返信封筒・大阪市行政オンラインシステムによる回収

令和3年度実績 年2回実施 第1回 回答率39.6%（792名） 第2回 回答率37.7%（754名）